

就学児サポート調査票

児童氏名	調査時年齢	調査日
	満才か月	年 月 日
記入者氏名	記入者の所属（事業所が作成した場合のみ）	保護者署名（事業所が作成した場合のみ）

★記入にあたって★

- ・具体例を参考にして、該当する箇所（全介助、一部介助など）にチェック☑をお願いします。
- ・直近の1か月間の様子に基づき判断してください。
- ・調査票は4ページあります。すべての項目にご回答ください。

★①～④の項目のチェック基準★

- ・「全介助」 一連の行為のすべてにおいて支援を必要である（支援が100%必要）
- ・「一部介助」 一連の行為の一部を自分で行うことができる（支援が1～99%必要）
- ・「介助なし」 一連の行為をすべて自分で行うことができ、支援を必要としない（支援が0%必要）

※「全介助」「一部介助」を選択した場合、該当する具体例にチェック☑していただくか、該当例がない場合には、「その他」にチェック☑し（ ）に状況を記載ください。

項目	支援の状況	具体例（該当するものすべてにチェック☑してください）
①食事 食事の開始から終了まで	☐ 全介助	☐ 経管栄養（胃ろう、腸ろう）や中心静脈栄養を行っている ☐ その他（ ）
	☐ 一部介助	☐ 食べ物に特別な配慮を要する（きざみ食、流動食など） ☐ 安全面での配慮、食べ物を小さくする等の支援 ☐ 手づかみ ☐ 著しい偏食 ☐ 感覚過敏（食形態（温度、食感）のこだわり、食器のこだわり等）など ☐ その他（ ）
	☐ 介助なし	
②排泄 尿意（便意）の発現から排尿（排便）後の後始末まで	☐ 全介助	☐ 集尿器や畜尿器・畜便器（ストマ）使用 ☐ おむつ、尿取りパット等を使用 ☐ 尿カテーテルを留置し、全面的に支援を受けている ☐ その他（ ）
	☐ 一部介助	☐ トイレトレーニングを行っている（夜だけおむつ） ☐ 支援者の促しが必要 ☐ 特定の場所のトイレ以外では出来ない ☐ トイレの形状によって排泄が困難 ☐ その他（ ）
	☐ 介助なし	
③入浴 入浴の脱衣から着衣まで	☐ 全介助	☐ シャワーベッド等の器具を使用して、支援者による全面的な支援が必要な場合 ☐ 常時抱っこで入浴する必要がある ☐ その他（ ）
	☐ 一部介助	☐ 「一連の行為」を自分で行えるが、見守りや声掛け等の支援が必要な場合 ☐ 「身体や髪、顔を洗う・拭く」行為が不十分のため、支援者が部分的にやり直している ☐ 入浴する際に常に動いていて、見守り等配慮が必要 ☐ その他（ ）
	☐ 介助なし	
④移動	☐ 全介助	☐ 常時バギーや車いすなど移動用具が必要 ☐ 常時抱っこでの移動が必要 ☐ 医療上の必要により移動を禁止されている ☐ その他（ ）
	☐ 一部介助	☐ 階段等の条件によって介助が必要になることがある ☐ 道順や手段にこだわりがある ☐ 公共交通機関ではパニックになりやすく、利用できない ☐ 移動が安定せず、途中で立ち止まったり、座り込んだり、寝転んだりするため対応が必要 ☐ その他（ ）
	☐ 介助なし	

★⑤～⑩の項目のチェックについて★

- ・「常に支援が必要」→常時見守りや個別対応などの配慮が日常的に必要な場合、または行動が習慣化している場合（例：1週間以上）
- ・「支援が必要な場合がある」→該当行為がある場合、時々あるいは部分的な支援が必要な場合（例：月1回程度以上）

※「常に支援が必要」「支援が必要な場合がある」を選択した場合、該当する具体例にチェック☑していただくか、該当例がない場合には、「その他」にチェック☑し（ ）に状況を記載してください。

項目	支援の状況	具体例（該当するものすべてにチェック☑してください）
⑤コミュニケーション 他者に対する自分の意思伝達に支援が必要かどうか	☐ 常に支援が必要 2	☐ 重度の知的障害、精神障害、意識障害等のため、コミュニケーションできない ☐ コミュニケーションできているかどうか判断できない ☐ オウム返し ☐ 独自の方法（本人独特の身振りや仕草、まばたき）でコミュニケーションができる ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある 1	☐ コミュニケーションツール（絵カード、ICT活用、PECS等）を用いるとコミュニケーションができる ☐ 手話や筆談、点字等を用いている ☐ 特定の人（保護者など）しか理解できないサインで意思表示する ☐ 慣れない場所・人、人前では表情が硬く、話すことが難しい状態 ☐ 吃音がある ☐ その他（ ）
	☐ 支援不要 0	
⑥説明の理解 他者からの説明の理解に支援が必要かどうか	☐ 常に支援が必要 2	☐ 簡単な口頭での説明をしても、うなづきや返事が見られず、理解できていると考えられない。 ☐ 理解しているのか判断できない ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある 1	☐ 簡単な口頭での説明を聞いてうなづいたり、返事をするが、その後の行動が伴わないことがある ☐ 1つのことはできるが、同時に2つ以上のことを指示されると行動が困難になる ☐ コミュニケーションツール、ジェスチャーで補足すると理解が促進する ☐ その他（ ）
	☐ 支援不要 0	
⑦大声・奇声を出す どの程度の支援（配慮の度合いや頻度）を必要としているか	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上該当行動あり） 2	☐ 周囲が驚いたり、他者が迷惑となるような大声や奇声を出す ☐ 物などを使って周囲に不快な音を立てる ☐ 時間帯と場所を選ばず大声・奇声を出す ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1	
	☐ なし 0	
⑧異食行動	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上該当行動あり） 2	☐ 食べられないもの（例：石や砂、おもちゃ、地面に落ちて汚れている食べ物等）を口に入れる ☐ ものを口に入れて感触遊びをしたり、確認したりする行為がある ☐ 服の袖を噛んだり、紐を口に入れることがある ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1	
	☐ なし 0	
⑨多動・行動停止 どの程度の支援（配慮の度合いや頻度）を必要としているか	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上該当行動あり） 2	☐ 特定の物や人（対象が明確でない場合も含む）に対する興味関心が強く、思い通りにいかないと多動になったり、その対象にこだわって動かなくなってしまう ☐ 絶えず動いてしまう、絶えず喋っている ☐ ゆっくりした行動が難しい（例：歩くことができず、すぐに走ってしまう等）本人の意思とは関係なく、次の行動に移ることが難しい ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1	
	☐ なし 0	

項目	支援の状況	具体例（該当するものすべてにチェック☑してください）	
⑩不安定な行動 どの程度の支援 （配慮の度合い や頻度）を必要 としているか	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上 該当行動あり） 2	☐ 突然の予定変更があると次の行動ができなくなる。また、不安になり落ち着きがなくなってしまうたり、行動が停止する ☐ 日頃から慣れている支援者や周りの環境が変化すると、パニック状態となってしまう ☐ その他（ ）	
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1		
	☐ なし 0		
⑪自らを傷つける 行為	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上 該当行動あり） 2	☐ 自分の頭を叩いたり、床や壁に打ちつける ☐ 自分をつねる ☐ 傷口を触ったり、ほじったりして治らない ☐ 自分で口に指を入れて嘔吐する ☐ 衣服を破ることがある ☐ その他（ ）	
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1		
	☐ なし 0		
⑫他人を傷つける 行為	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上 該当行動あり） 2	☐ 他人を叩く、髪の毛を引っ張る、蹴る、押す等の行為がある。 ☐ 物を壊したり、投げたりする ☐ 暴言（バカ、死ね等）、相手を侮辱したり、からかったり、いじめたりする ☐ その他（ ）	
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1		
	☐ なし 0		
⑬不適切な行為	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上 該当行動あり） 2	☐ 見知らぬ人に対して過度に親しい振る舞いをする（例：抱きつく、膝の上に乗る等） ☐ 他人に急に接近したり、のぞき込んだり、体に触ったりする ☐ 過度に人や物の臭いを嗅ぐ ☐ その他（ ）	
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1		
	☐ なし 0		
⑭突発的な行動	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上 該当行動あり） 2	☐ 関心の強い物や人（対象が明確でない場合も含む）を見つけたら、突然そちらに走って行ってしまう等、突発的な行動がある ☐ 突発的な行動があるが、それを防ぐための支援を行っている ☐ その他（ ）	
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1		
	☐ なし 0		
⑮過食・反すう等 （食に関する行動上の問題）	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上 該当行動あり） 2	☐ 過食、拒食（例：異常な量を食べる、環境の変化によって食べられなくなるなど）がある ☐ 際限なく水を飲み続ける ☐ 過度な偏食（例：白米だけしか食べない等、特定の物だけしか食べない）があり、食事面で配慮している ☐ 故意に嘔吐を繰り返している ☐ 食に関する特別な配慮（アレルギー食、宗教食対応、咀嚼・嚥下の配慮）が必要 ☐ その他（ ）	
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1		
	☐ なし 0		
⑯てんかん	☐ 常に支援が必要 2	☐ てんかんの診断がある ☐ 薬で発作を予防している ☐ その他（ ）	
	☐ 支援が必要な場合がある 1		☐ 服薬はしていないが、てんかんの経過観察を行っている ☐ その他（ ）
	☐ なし 0		

項目	支援の状況	具体例（該当するものすべてにチェック☑してください）
⑰そううつ状態	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上該当行動あり） 2	☐ 気分が憂鬱で悲観的になったり、時には抑うつ気分により思考力が低下し、考えがまとまらないため、日常生活に支障をきたす ☐ 気分の高揚により、様々なことを思いつき、次々と行動に移すが、注意力散漫であるため、失敗に終わることが多く、社会生活に影響を及ぼす ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある （時々・月1日程度該当行動あり） 1	
	☐ なし 0	
⑱反復的行動	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上該当行動あり） 2	☐ 物や行為にこだわり特定の行為を反復する（例：言葉やTVのフレーズを繰り返し話す、機械類をずっと見ていたり、気になると時や場所を選ばず寄って行ってしまう、特定のおもちゃでしか遊ばない等） ☐ スケジュールや物を置く位置などが変わると混乱し元に戻すように求めたり、戸の開閉を過度に気にし、きちんとしまっていないとパニックを起こすため、配慮が必要 ☐ 日常生活の中で決まった習慣（例：服を着る順番が決まっている等）を行わないと次の行動に移れない ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1	
	☐ なし 0	
⑲対人面の不安、緊張、集団への不適応又は引きこもり どの程度の支援（配慮の度合いや頻度）を必要としているか	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上該当行動あり） 2	☐ 一定期間学校へ行けなかったり、事業所の中に入れなかったり、家に引きこもっている ☐ 全く集団に参加できず、個別に対応が必要 ☐ 家族や家族以外の社会参加の機会を拒否したり、その場においても一緒に行動できない ☐ 短時間しか集団に参加できず、個別に対応が必要 緊張状態が強く、身体症状が出ている（例：チック、爪噛み、指しゃぶり、緘黙がある） ☐ 感覚過敏により適応に困難がある（音・光・色等を過剰に感じる、皮膚感覚過敏） ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1	
	☐ 支援不要 0	
⑳読み書き 文字を介したコミュニケーション、字の読み書きについて支援が必要かどうか	☐ 常に支援が必要 （日常的・週1日以上該当行動あり） 2	☐ 文字では理解できず、コミュニケーションツールを使用することで理解できる 絵本や本に興味を示さない ☐ 外国語でのコミュニケーションが必要なため、翻訳を行っている ☐ 学習障害のため、読み書きが困難 ☐ 視覚障害や盲重複障害のため、点字を利用している場合 ☐ その他（ ）
	☐ 支援が必要な場合がある（時々・月1日程度該当行動あり） 1	
	☐ 支援不要 0	

稲城市使用欄

個別サポート加算（Ⅰ）の対象の判定

項 目	該 当	判定基準
サポートⅠ		⑤～⑳の✓の合計が13点以上になる
重 度		①～④の3以上が「全介助」になる

短期入所単価区分※必要時に判定

項 目	該 当	判定基準
区分 3		①～④の3以上が「全介助」、又は⑤～⑪の1以上が「ほぼ毎日」
区分 2		①～④の3以上が「全介助」若しくは「一部介助」、又は⑤～⑪の1以上「週に1回以上」
区分 1		区分3又は2に該当しない児童で、⑤～⑪の1以上が「全介助」又は「一部介助」

担当者